令和6年度 第4回東御市総合教育会議 会議録

1 日 時

令和7年2月21日(金) 午前8時45分から午前9時45分まで

2 場 所

公室

3 議 題

- (1) 幼保小の連携について
- (2) 教育委員会評価について
- (3) 学校給食食材の価格高騰について

4 出席者

○市長 花岡利夫

○教育長 山口千春

○教育委員

教育長職務代理者 小林経明

委員 直井良一

委員 五十嵐英美

委員 小林利佳

委員 富岡志津子

○その他

深井教育次長、土屋教育課長、春原保育課長

高野学校教育係長、小宮山学校施設係長

塚田学校教育係主事

会議録

深井教育次長

ただ今から令和6年度第4回東御市総合教育会議を開催します。
はじめに市長からごあいさつをお願いします。

花岡市長

3月議会が開会しました。五十嵐委員については任期が今年の5月までとなっていますが、保護者の立場として引き続き委員を継続していただくことでお願いしています。

新しい滋野児童館の竣工の準備が進んでいますが、現在の児童館は引き続き子どものための施設としての利用を考えています。これから公募することとなりますので引き続きよろしくお願い致します。

東部地区小学校給食センターは基本設計が終了し、実施設計を進めています。子どもたちに良いものを提供できるように今後も検討していきます。国会では高等学校の授業料無償化や給食費無償化の話がありますが、やるべきことをやっていかなければいけないと考えています。

本日はよろしくお願いします。

深井教育次長

続きまして、教育長からごあいさつをお願いします。

山口教育長

本日の内容は、幼保小連携について、教育委員会評価について、学校給食食材の価格高騰についてであります。担当が説明いたしますので様々な角度からご意見をいただき、意見交換をしていただきながら、情報共有や共通理解を図って、今後の業務推進に活かして参りたいと考えています。何より子どもたちや教員が安心して園や学校で生活ができ、保護者が園や学校に安心して子どもを送り出せる、そんな環境をさらに充実させたいと思います。ご協議よろしく申し上げます。

深井教育次長

ありがとうございました。

それでは、議題に入らせていただきます。議題(1)幼保小の連携についてであります。組織改編により保育課が教育委員会の中に加わり、今年度は最初の1年目となりました。このような状況の中で、幼保小連携における長所や短所がどのように見えてきたのかという点について、報告させていただきます。

春原保育課長

幼保小の連携の一番の目的は、学び手である子どもの視点に立って、幼児教育と小学校教育を円滑につなぐことで小学校入学後の小1プロブレムと言われる学校不適応、不登校防止対応の解消を図ることです。今年度は、幼保小接続委員会を年3回実施、市立保育園以外の保育所との連携、発達特性の早期発見の大きく3つを計画して実施しました。

一つ目、幼保小接続委員会は、昨年度の課題から今年度初めて小学校区ごとに接続委員会を開催しました。各学区の中で必要に応じて複数回実施でき、職員研修では保育参観や授業参観の実施、子ども同士の交流では園、学校行事への参加等より深い交流ができました。これらを通じて学び手である子どもの視点に立ち、子どもたちへの支援につながり、よい成果が見え始めました。今後の課題は、担当職員だけでなく、園と学校の全職員が小学校教育・幼児教育の理解に努めていくことです。また、遊びから学びへつなぐアプローチカリキュラムを市内5園で作成し完成しました。来年度は保育園と小学校で一体化した園小接続カリキュラムの作成を試み、さらに深めていきたいと考えています。

二つ目、市立保育園以外の保育所との連携は毎月開催されている保育所連絡会議において市立保育園以外の保育所と連携し、幼保小接続委員会での情報共有と就学に向けての共通認識を行いながら幼保小の連携について検討しています。来年度は保育士研修として、市立保育園以外の保育所との保育参観を計画し、交流や連携を深めていくことを検討しています。

三つ目、発達特性の早期発見は、包括連携協定を締結している長野大学の教授に就学前の年長児の行動観察と今年度は年中児行動観察も試み、目の見え方、耳の聞こえ方等多方面の視点で具体的な支援方法等について保育士に助言をいただきました。それを保護者と共有する中で保護者からも子どもの特性について相談があり、早期支援につながったケースもありました。引き続き、子ども家庭支援課で行っている5歳児発達相談事業と連携し特性のある子どもを中心に行動観察を行い、年中から年長への成長過程を継続して見守りながら早期発見に向けた体制を作っていきます。

深井教育次長

この内容についていかがでしょうか。

五十嵐委員

これまで保育園に通っていた園児が小学校に入学する大きなハードルの1つに、生活スケジュールがあると思います。小学校では、チャイム1つで時間が区切られていますので、入学する前にその様子がわかると、入学後もスムーズにできると思います。さらには、このことがごっこ遊びで保育園の中でも楽しみながら遊んでいる様子が見られました。小学校生活の様子が分かって入学後も慣れやすいのではないかと思います。

山口教育長

チャイムで生活することは、これまで見えない壁の1つとなっていました。幼保小接続委員会を立ち上げたときに担当していたことが形になりつつあり、とても嬉しく思います。

深井教育次長

長野大学との包括連携協定によっては、行動観察だけでなく、保育園が大学生の実習の場ともなっています。今後は、さらに保育士の資質向上につなげていくことができると考えています。

富岡委員

保育園の夏祭りや運動会を見させていただきましたが、子どもを取り巻く環境は日々変わっていますが、子どもたち自身は変わらないのだと実感しました。保育キーパー等多くの人の目で見守られていることは人との繋がりがあるということだと感じました。

深井教育次長

続いて、議題(2)教育委員会評価についてであります。令和5年度の内容について有識者の意見を付して評価を行いました。なお、この内容については1月定例教育委員会で承認をもらい、既に議会に提出しています。

高野学校教育係長

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和5年度における東御市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について報告するものです。点検・評価の対象は第2次東御市教育基本計画の令和5年度における取組進捗状況であり、A～Eの5段階評価で判定しています。評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験者を有するものの知見の活用を図るものとするという同規定に基づき、元教育長に意見をいただいています。

土屋教育課長

評価者からの意見については主なものについて説明します。

「安全・安心な子どもの居場所づくりと教育環境の整備」について、GIGAスクール構想に基づき導入し端末機の整備は評価でき、効率的な学習に取り組んで活用されたいとあります。今後これらの更新も必要になりますので検討が必要になっていきます。

「豊かな心と健やかな身体を育む教育の推進」について、不登校対策において、個別の支援計画を作成し、学校や家庭等と長期的な支援が求められること、また、体力向上については取り組む内容を生活に位置づけ、日々取り組めるようにしてほしいと意見がありました。

「青少年の健全育成の推進」について、低年齢からネットリテラシーについて学ぶこと、また保護者への学習会に重点を置くなど継続した取組みを積極的に進められたいとあります。

「人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進」について、生涯学習講座等の指導者育成の推進、「文化財の保存と活用」については、地域と共に一体となって今後も継続的な保存や修繕を継続されたい、また地域での組織的な活動を広げたいとの意見があります。「地域文化や伝統行事の継承」については、担い手育成の普及啓発活動や情報発信を積極的に行い、地元と協力し、

市の伝統文化の発展・継続に期待したいといった内容の意見をいただいています。

また、今回の評価は5段階評価をしましたが、評価が明確な3段階評価への変更というような総合的なご意見をいただいています。

深井教育次長

この内容について、いかがでしょうか。

小林職務代理

評価者については、内容についてしっかり見ていただいていると感じています。評価でCが多いことが気になります。

土屋教育課長

Cの評価内容は真ん中であるように見えますが、概ね(70%程度)取り組むことができたという評価になっています。その点がわかりにくいということもあり、3段階評価がよいのではという意見をいただきました。

花岡市長

この評価の変更・決定についてはどこで決めるのでしょうか。

深井教育次長

この評価方法については、再度教育委員会で協議をしたうえで決めていきます。

土屋教育課長

令和6年度の評価を次年度に入った早い時期に実施予定でありますので、その際にどの方法で評価するのか決めてきます。

深井教育次長

続いて、議題(3)学校給食食材の価格高騰についてであります。当市の給食費の現状について担当からご説明します。

小宮山学校施設係長

令和7年度に向けて、学校給食の食材の価格高騰の対応については、大きく2つの事業を対応していきます。

まず1つ目に給食費改定に伴う激変緩和措置です。この内容は当初予算に計上しています。平成26年に給食費改定を行ってから、その後は改定を行わず対応してきましたが、昨今の価格高騰を受け令和6年4月に給食費の改定を行いました。この改定においては、令和6年度では、改定相当額を全額市で激変緩和措置を実施し対応しています。令和7年度以降は激変緩和措置の

補助額を毎年度減額し、令和10年度からは、改定額を全額保護者の皆様方にご負担をいただくという形で検討しています。そのため、令和7年度は令和6年度より保護者負担額が1食あたり10円値上げとなります。

2つ目に給食食材費の物価高騰額の補填です。これは新たな取り組みであります。令和6年4月に給食費の改定を行いましたが、主に主食となる米飯、牛乳、パン等が、価格高騰が続いています。特に米価は令和7年度単価がこの2年で13.09円高騰しています。給食で子どもたちに必要な栄養を確保するための量・質を維持していくため、令和7年度におきましては、値上がり相当額に地方創生臨時交付金を活用する方向であります。価格補填額は先ほどの給食費改定額とは別に1食当たり小学校27円、中学校31円で検討しています。

なお、今回の改定は、令和7年度における対応であり、令和8年度以降の給食費の考え方については、国の動きにも注視しながら、令和7年度内に学校やPTAの皆様方と話し合いを実施し、適正な給食費、また給食単価について、総合的に検討を行うことと考えています。

深井教育次長

北御牧給食センターは、米をセンター内で炊いています。他の自校給食と違って米価高騰による圧迫を非常に受けている状況です。

直井委員

給食費の無償化の話がありますが、無償化にするには多くの課題があります。県内でも格差が出てきている状況です。

深井教育次長

当分の間は保護者に負担していただくことで検討しています。国の方向や制度が整うまでは給食費については検討していかねばならない話であります。

花岡市長

給食費無償化を打ち出している自治体もありますが、東御は東御の良さでやることを分けていかなければならないと考えています。この現状の中で無償化となると現在提供できているものができなくなってしまうという非常にやりくりが難しい状況になってしまいます。おいしいものを引き続き提供することが必要であると思っています。

小林委員

給料が上がらないが物価が高騰している状況はどの家庭でも厳しい状況であると思いますが、やはり住んでいるところで違いがあるとやはり公平性がないように感じます。東御市も無償化になることが一番良いと思いますが、財政的な問題もありますし、今後を見据えて順次検討していくことが必要であると思っています。

深井教育次長

東部地区小学校給食センターの検討委員会の中でも、質の高い給食を継続してほしいとの議論もあります。そういった声を大切にしながら、給食費について、その都度検討をしていくことが必要であると考えています。

最後にその他についてですが、今後児童・生徒用の端末機器約 2,400 台につきまして、令和 10 年度末までに順次更新を計画していかなければなりませんので、ご承知ください。

以上をもちまして、令和6年度第4回総合教育会議を閉会します。